



周之江展

墨·50年

周之江展

墨·50年

圖書在版編目(CIP)數據

周之江展：墨·50年/周之江著. -- 上海：上海書畫出版社，2010.10

ISBN 978-7-5479-0131-1

I. ①周… II. ①周… III. ①漢字-書法-作品集-中國-現代②中國畫-作品集-中國-現代③漢字-印譜-中國-現代 IV. ①J222.7

中國版本圖書館CIP數據核字(2010)第190269號

周之江展：墨·50年

周之江著

責任編輯	張恒烟
審讀	王彬
裝幀設計	莊日建
技術編輯	錢勤毅
責任校對	柏龍

出版發行 **上海書畫出版社**

地址 上海市延安西路593號 200050

網址 www.shshuhua.com

E-mail shcpvh@online.sh.cn

印刷 上海雅昌彩色印刷有限公司

經銷 各地新華書店

開本 635×965 1/8

印張 18

版次 2010年10月第1版 2010年10月第1次印刷

印數 0,001-2,000

書號 **ISBN 978-7-5479-0131-1**

定價 **128.00圓**

若有印刷、裝訂質量問題，請與承印廠聯系

慶祝

周之江展

日國唐招提寺八十五世長老

松浦俊海

書

北京會場 2010年11月7日-11月8日 榮寶齋
上海會場 2010年11月10日-11月11日 上海圖書館
臺北會場 2011年11月 孫中山紀念堂 (待定)
主 辦 中國書法家協會
協 辦 上海書法家協會 日本書畫篆刻協會
後 援 日本奈良唐招提寺 中國駐大阪總領事館



2010年1月，周之江與中國書法家協會主席張海、中國美術家協會主席劉大為在北京一起討論舉辦“周之江展——墨·50年”書畫展事宜



周之江於日本奈良安倍文殊院

壽而藏

智者樂

1960.6.1 小龍十歲不到

周之江（小龍）十歲生日前習書

序一

張海

屈指算來，我和周之江先生認識已經二十多年了。近幾年來，交往日多，對他的從藝之路逐漸有了深入瞭解。

之江先生1950年生于上海。從九歲起開始學習中國書畫，先後師從書畫篆刻名家胡問遂、唐雲和錢君匋，數年間臨習了《皇甫誕》、《九成宮》、《虞恭公》等名碑。十六歲後開始學習顏體，漸次涉獵歷代行草大家，尤其對明末清初的王鐸情有獨鍾，醉心揣摩，頗有心得。在古人的傳世書法中，他逐步領悟到“熟中生，生中熟；穩中險，險中穩；美中拙，拙中美”的真諦，書藝大進。

三十六歲時，之江先生東渡日本，入國立大阪教育大學學習美術教育，1994年獲美術教育學碩士學位。同年受聘于大阪藝術大學、大阪梅花女子大學任教。之江先生求學期間于1991年即創辦了中國水墨畫教室，每期招收一百多名日本弟子，介紹中國書畫。1992年在大阪市創立中日書畫篆刻協會。他利用自己的書畫專長，在日本兼教兼學，一方面教授日本弟子，一方面研究日本的文化精神。

就書法而言，之江先生認為：中國書法家重視法，法的傳統，法的淵源；日本書道家重視書道禪——書寫者心靈空間之反映。法強調書寫的技藝，永字八法的側、勒、弩、趯、策、掠、啄、磔，為基本寫法，結體的構成、組合、安排都要講規矩。規矩從何而來？從唐楷、魏碑、漢隸、秦篆一代一代追溯而來。而書道禪強調書寫者的經歷、思想、內涵、修養以及對所寫文字的認識和感悟，是做人的基本道理和心得，可稱之為無為法。法是教人入門的，書道禪是教人入門再出門，熟悉技藝後以心靈、修養作書。中國近代的文人字，如魯迅、豐子愷、弘一法師，都體現着書道禪的意境。

之江先生同我聊天時也談到過法和道的關係，學習書法，首先要講究法度，但光有法，沒有道，就會媚，就會俗。道和禪都是對書法的正面引導。尤其是書法家，要想有所成就，一定要靜心、安心、修心、養性。要將書法變成修煉心靈的道場，將書法作為一門學問，才能够承前啓後，使中國幾千年的傳統發揚光大。且不論之江先生的觀點有沒有商榷之處，但他對中國書法傳統的拳拳之心是令人欣賞的。

中國書法一貫重視的法，是學習技藝的必經之路。而法與道之異，只是字面的不同，就方法、技藝而言，道亦法也。所謂的書道禪，無非強調“從心所欲而不逾矩”的“情緒的直寫”。蘇東坡說“我書臆造本無法”，有法生無法，無法見有法，一切以見識、情緒為歸，見識、情緒則由道德、學養生發。這是古老的中國傳統。尚韻、尚法、尚意，構成“入而能出，出而能入，四通八達，圓之又圓”的中國書法精神。

繪畫方面，之江先生先後結識了日本一流大畫家東山魁夷、平山郁夫等，認真研究其作品，吸收其長處，融會于自己的繪畫實踐，形成新的風格。

之江先生在京舉辦個人書畫展尚屬首次，為籌辦這次展覽，他付出了多年的心血和汗水，書畫家靠作品說明一切，讓我們細細品味吧。

張海（中國書法家協會主席）
2010年8月于北京

序一

張海

私が周氏と知己を得たのは、考えてみれば20年余りになっています。とりわけここ数年来、交友の機会が重なってきており、之江氏の芸術に対する姿勢をより深く理解するようになっております。

周氏は1950年、上海に生まれました。9歳から中国書画を習い始め、胡問遂、唐雲、銭君匋という書、絵、篆刻の名家に師事しつつ、数年間で皇甫誕、九成宮、虞恭公などの名碑を臨模し修練を重ねてきました。16歳で顔体(顔真卿の書体)を学び、それから次第に歴代の行草大家の書体に及んでいたそうです。とりわけ明末、清初の有名な書法家である王鐸の書体に心酔してそのコツを会得しています。古人が代々伝えている書道の世界から彼は「熟中生、生中熟；穩中險、險中穩；美中拙、拙中美」という重大な根本義を悟り、それ故、周氏の書道の力量も大いに飛躍しました。

36歳の時、之江氏は日本に渡り、大阪教育大学大学院の美術教育科に入学し、1994年大学院修了。同年大阪芸術大学、大阪梅花女子大学講師を兼任しました。一方、創作の傍ら日中芸術文化の交流にも参与し活躍しています。1991年に中国水墨画教室を開き日本人の弟子を指導し、中国の書画を日本人の人に紹介しております。1992年大阪に「日中書画篆刻協会」を創設されました。彼は専門的な知識を生かして弟子を教えながら、日本文化の精神も研究しつつづけています。

書道について、周氏は次のように考えています。中国の書家は法、法の伝統及び源流を重んじ、それに対し、日本の書家は禅を重視していると、法とは技法を強調します。その法の規則はどこから来たかと言いますと、唐楷、魏碑、漢隸、秦篆などをさかのぼれば見出すことができます。一方、禅とは書く人の経験、思想、内包、教養が書いた文字を通して新たな智慧と深い悟りを生み出してくれるものです。それは身を持する心得でもあります。法は人間に入門することを教え、禅は入門してから出ていくこと、つまり俗世を超越することを教えてくれます。中国の近代文人(例えば魯迅、豊子愷、弘一法師など)の字は、禅の境地を表しているのです。

周氏は私と話した時、法と道の関係にも言及しました。「書道を学ぶには、まず法における法則に工夫を凝らす必要があります。しかし、『道』なしに『法』だけでは俗になってしまいます。道と禅は書道に欠かせない存在です。特に書家は芸術的な成功を収めるために、心を静めて心を修めなければなりません。書道を心を修める道場に変えてこそ一つの学問としてはじめて、中国の何千年の伝統を大いに発揚することができます。」と周氏は述べています。その見方に議論の余地があるかどうかはさておき、周氏の中国書道の伝統に対する真摯な姿勢に非常に深い感銘を受けています。

中国書道の一貫として重視する「法」は書道を稽古するのに必ず通らなければならない道です。が、「法」と「道」の違いは字面の違いにすぎません。方法、技巧の面から言いますと、「道」も「法」なり。真の書道は在るがままに字を書いても決して杵を踏みはずす事はないという気持ちを率直に強調しています。これは中国書道の伝統でもあります。

一方、絵画に関して、周氏は東山魁夷、平山郁夫という日本の大家と知り合って、真剣に彼らの作品を研究し、長所を吸収して自分の新しいスタイルを創り上げています。

周氏は北京で個展を開催するのは初めてであり、今回の個展は長年心血を注いだものです。書画家は作品ですべてを証明すると云われています。

皆様、ごゆっくり御清覧下さい。

張海 (中国書法家協会主席)
2010年8月 北京において
(訳：章虹 新田雅子)

序二

劉大為

周之江先生成名很早，1980年三十歲時就已加入上海市書法家協會。參加全國書畫大賽屢屢獲獎。1987年，周之江赴日本深造，從此又開始了新的藝術探索。

有成就的中國書畫家，浪迹天涯者甚多，周之江先生就是其中一位，在日本、歐美游學辦展。他先後在日本舉辦個人畫展達十二次之多。在美國洛杉磯也舉辦過個人畫展。除此之外，周之江還在東京、大阪建立了中國水墨畫教室，弟子三千，1993年還携日本弟子百余人來上海美術館辦師生展，以促進中日文化藝術交流。對於一個畫家來說，這是非常難能可貴的。

周之江先生的畫，重在用筆和意境上。唐張彥遠在《歷代名畫記》中說：“夫像物筆在于形似，形似須全其骨氣，骨氣形似皆本于立意，而歸于用筆。”精于用筆又氣韻生動是水墨的更高境界，以氣韻求其畫，則形似已在其間了。周之江作畫，不刻意于形似，以形似之外求其畫，所以往往能達到一種高雅的境界。同時，由于周之江先生又是一位書法家，所以用筆尤為純熟、精練，心筆合一，畫面能夠達到一種既優美又大氣的效果也就不足為奇了。

周之江先生的大作《祥瑞圖》，仙鶴來，祥瑞到。《祥瑞圖》中有鶴五羽，各具神態，喻鑒真大師五次東渡。大師每次東渡，上蒼遂遣仙鶴一羽先行。自天寶二載起，五次東渡，玉帝先后派五羽仙鶴在日本等候。此畫明確昭示了鑒真大師東渡意志彌堅，大師因有此志，方能帶來祥瑞。這就是一種很高的意境，是一種高深的藝術文化。此畫已經被日本唐招提寺收藏，唐招提寺曾經謝絕了許多世界聞名的畫家的作品，只收藏了日本畫泰斗東山魁夷為該寺創作的巨幅壁畫。周之江先生有幸成為第二人。唐招提寺松浦俊海長老在獻畫儀式上說：“周之江先生創作的巨幅山水畫，將與唐招提寺的歷史永存。”

周之江先生幼年師從著名書法家胡問遂先生學習書法，師從著名畫家唐雲先生學習國畫，師從著名篆刻家錢君匋先生學習篆刻，后又博學于程十髮大師。師出名門是周之江得天獨厚的藝術財富，但游學世界、博採眾長則是他不斷進取的要津。願周之江先生的藝術之路越來越寬，達到一個更高的境界。

劉大為（中國美術家協會主席）
2010年8月于北京

序二

劉大爲

周氏は若い頃に既に有名でした。1980年(30歳)にして上海書法家協会に入会されています。全国書画コンテストに於いてしばしば受賞しました。新しい人生の挑戦をする為に、1987年に周氏は日本に渡り、芸術の模索を始められました。

すばらしい業績を残した中国書画家の中には世間をさすらう方が多いです。周氏もその中の一人です。彼は日本や欧米などの国に遊学し、個展を開いています。日本でも12回個展を開いています。アメリカのロサンゼルスで個展を開いたこともあります。また一方、創作の傍ら東京、大阪で中国書画教室を開き、たくさんの弟子を持っておられ、1993年には日本の弟子百人余りを上海へ連れて上海美術館で社中展を開催し、中日文化・芸術の交流を促進されました。それは一人の画家にとって実現するのは容易な事ではないと思います。

周氏の絵はゆったりとした運筆と熟達した境地をみせ、形にとらわれることなく、純粋な美にもかならずしも拘泥していません。書家としても有名であるだけでなく、絵画にもすぐれ、先人の諸風を吸収し、独自の境地を築いています。沈着な運筆にも気迫が溢れ、いつわりや飾り気のない独特の画が紙面いっぱい広がっています。

唐の高僧・鑑真に敬意を表し、周氏が3年がかりで完成させた大作「祥瑞図」をゆかりの唐招提寺(奈良市)に寄贈されました。作品は六曲屏風で、吉兆の象徴である白鶴5羽を鑑真和上に見立てて、鶴が西方から海を渡って飛来する様子が描かれています。鶴が遊ぶ波間の岩は日本をイメージしています。唐招提寺は世界の有名な画家からの作品寄贈を辞退しましたが、日本画の泰斗と称される東山魁夷の作品だけは障壁画として収蔵されています。幸運なことに、東山魁夷の次には、周氏の作品も唐招提寺に収蔵されました。寄贈儀式で唐招提寺の松浦俊海長老は「周之江先生の水墨画『祥瑞図』は唐招提寺の歴史とともに末永く続くように」とおっしゃいました。

周氏は中国で有名な書家胡問遂先生、画家唐雲先生、篆刻家銭君匋先生に師事して、書道、絵画、篆刻に研鑽を積んで、その後、博学な程十髮先生に人生の師として指導を受けました。名門の出であることは周氏の恵まれている芸術的な富ですが、世界で遊学する経験と博採衆長は絶えず進歩する原動力となっています。

周氏が広くなりつつある芸術の道で、更なる高い境地に達するように心から祈っております。

劉大爲 (中国美術家協会主席)

2010年8月 北京において

(訳:章虹 新田雅子)

目錄

國畫作品

楓葉孔雀圖	3
祥瑞圖	4
墨竹	6
高瞻遠矚圖	7
白荷游魚圖	8
紅楓白鸚圖	9
臨南宋畫冬景	10
臨南宋畫秋景	11
墨竹	12
鵝	13
葫蘆	14
山茶雪鶴	15
黑牡丹	16
瑞鶴圖	17
竹雀圖	18
鶴泉圖	19
蘭	20
蘆鵝圖	21
荷花	22
白鷹圖	23
墨竹圖	24
紅楓雙栖	25
白荷紅蜻蜓	26
牡丹	27
瓢箪	28

鷹濤	29
寒柳水禽	30
南瓜	31
蘭	32
紅葉白鷹圖	33
竹鷹圖	34
牡丹蕙蘭圖	35
白鷺春水	36
雛	37
富貴白頭	38
竹	39
松鷹圖	40
竹石小鳥	41
蕉雀圖	42
鴛鴦圖	43

書法篆刻作品

行書	47
楷書 高青邱《擬古》《送蜀山人歸》	48
草書 許渾詩句	50
篆書（兩幅）	51
篆書	52
草書	53
行草	54
篆書	55
楷書（兩幅）	56
行書	57

隸書	58	草書	98
行草	59	隸書 (兩幅)	99
草書	60	隸書 (兩幅)	100
草書	62	楷書	101
篆書	65	楷書 集于右任先生聯	102
隸書 (兩幅)	66	篆書	104
篆書	67	行書	105
草書	68	篆書《詩經》	106
楷書 (兩幅)	69	篆書	108
隸書 (兩幅)	70	草書	109
楷書 (兩幅)	71	篆書	110
篆書	72	行書	111
草書	73	隸書 (兩幅)	112
草書	74	草書	113
篆書 (兩幅)	75	篆刻	114
草書	76	生活照片	116
篆書	77	後記	122
楷書 李清照《醉花陰》	78		
草書	89		
篆書	90		
行書	91		
臨空海《風信帖》	92		
篆書	93		
草書	94		
楷書 (兩幅)	95		
行書	96		
行書	97		

國畫作品



楓葉孔雀圖
款識：之江畫
尺寸：172×95cm



祥瑞圖

款識：和音鳴諧聲聞于天

戊子吉日徽州周之江畫并記

尺寸：135×372cm

2008年5月9日13點18分 中國中央電視臺《華人世界》播出：

在胡錦濤訪問日本之際，著名旅日書畫家周之江先生特意創作巨幅山水畫《祥瑞圖》捐獻給唐招提寺。唐招提寺是日本的國寶級歷史文化遺產建築，目前只收藏了已故日本著名畫家東山魁夷的作品。這次首開正式收藏中國當代書畫家的作品。唐招提寺松浦俊海長老表示：周之江先生捐贈巨幅山水畫《祥瑞圖》，其中文化交流將是永遠有意義的。